

## 会 議 録（会議経過含む）

会 議 の 名 称	18年度第2回 由利地域協議会
開 催 日 時	平成18年10月16日(月) 午後2時
開 催 場 所	善隣館 ホール
出 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
欠 席 者 氏 名	「名簿」のとおり
<b>会 議 次 第</b>	
1. 開 会      14:00～	
2. 由利地域協議会長あいさつ	
<p>合併後地域協議会がつくられたが、私たち委員の役目は、旧市町の垣根が取り払われスムーズで行き届いた新市の行政運営がなされるまで、ということであろうが、委員として、責任を感じざるを得ないが、地域の要望がかなえられるよう市当局との橋渡しにがんばっていきたいと考えている。地域の要望についても毎年財源上の問題で先送りされることがないように要望していくのが勤めと認識しているところである。</p> <p>去る9月26日岩手県一関市の東山地域協議会が視察にみえ、意見交換したことを報告しておきたい。後ほど支所長の方から話があると思う。</p>	
3. 行政報告 ～渡邊支所長より	
4. 案 件 ～進行：佐藤千秋会長	
議事録署名人 庄司和夫委員、佐々木量一委員	
1) 19年度予算要求に向けた意見（要望）書の提出について	
内容説明 ～佐藤主査	
意見聴取（質疑・意見等）	
<p>（A 委 員）8月28日に開催した幹事会で、市に対する要望事項の説明あった4点についてきちんと文書で要望した方がいいということで決定したので、このような形で要望していいか皆さんにお諮りしたい。</p> <p>（回答）異議なし</p> <p>（A 委 員）異議なしと認め、市長の日程をお聞きしながら私が直接持っていくことに決定します。</p>	
2) 18年度由利地域集落要望事項の内容について	
<p>（A 委 員）聞くとところによると本日お配りした内容は、総合支所各課長も今初めて見るようであり、内容についての即答はできかねるようである。また、全集落からまだ出揃わないようである。案件の出し方として、来年度以降は、もうちょっと早めに集落からの要望事項をとりまとめ、内容を総合支所各課で検討協議の上で、予算要望する</p>	

しないの選択後にこの地域協議会に提出してもらうということでこの案件については終わらせていただきたい。

### 3) 質疑応答

(B 委員) 全体的に由利地域の新規事業の要望が増えていないように感じられる。うわさでは旧本荘市の要望する事業が先に実行されているような声を聞く。本日、議員の皆様も来ておりますので、由利地域が取り残されることのないよう、よろしくおねがいしたい。

(A 委員) 支所長にお聞きするが、今までの継続要望もあるが、昨年予算要求して予算がつかなく先送りされているものは、何件くらいあるのか。

(回答) 具体的な件数は把握していないが、昨年要望してできなかったものについては、必要であるから要望するものでありますから、引き続き本庁各課に要望していきたいと考えている。なお、旧町が取り残されていくような意見があったが、そのようなことは決してないと認識している。

(A 委員) 昨年のこの協議会での部長の答弁の中で、先送りされ 年度でなければ実施できないといわれたものも再度要望することも可能か。

(回答) どうしても待てないというものがあれば、再度要求していきたい。

(C 委員) 合併前は集落で要望したことについては、役場内で現地調査や財源手当の有無、優先順位を検討の結果、町政懇談会の席上でできるできないを報告してもらっていた。合併後においてもそれぞれの総合支所に 10,000 千円予算措置となったときいているが、その使い道についてはどうなっているのか。

(回答) 支所出張所管理費、11 節需用費修繕料に 10,000 千円ずつ 8 総合支所に予算措置がなされ、執行については 6 つの条件がついていることについて説明。由利総合支所では現時点で約 2,500 千円予算執行している旨説明。

(C 委員) 本日、議員の皆様も来ておりますので条件をつけないで使える金にしてもらえよう要望してもらえないか。

(D 委員) 枠を拡大してほしいということについては日頃機会をとらえて要望している。予算執行のルール化についても要望していきたい。総合発展計画に登載されているかどうか予算獲得の大前提となっていることであり、旧本荘市の工事が目立つような意見が出たが、決してそうではないと認識している。

(E 委員) 合併する前までは財政は厳しかったが優先順位をつけながらなんとかやってきた。総合支所に自由裁量な予算をつけてもらえば集落要望もかなう。由利本荘市内の各地域協議会の横の連絡を取りながら市当局に要望していくことも大事なことのではないか。

(A 委員) 各地域協議会の会長さんの意見を聞く機会があればいいと考えている。

(C 委員) それぞれの地域協議会が足並みを揃えて要望することは大事なことだと思う。8 つの地域協議会の連絡会議なる場が必要と思うが、そういう場の具体的立ち上げの計画はないか。

(回答) そういう話はまだない。そういう話があった旨は、伝える。

(回答) 国道 108 号線黒沢踏切の渋滞解消の方策として、信号機の設置についての陳情が

9月市議会に提出されたが、継続審議となった。これについては、渋滞解消の手法として以前立体交差の要望が出されており、比較の結果、信号機であれば経費的に進めるんではということから、108号線黒沢踏切の通行量を業者に委託して調査することとしている。情報として、みなさんに報告しておきたい。

4. その他

5. 閉会

会 議 の 資 料	別紙のとおり
-----------	--------

## 出席者名

会 長	佐 藤 千 秋	議 員	村 上 亨
副会長	徳 山 洋 一	議 員	高 橋 信 雄
委 員	佐 藤 利 明	議 員	大 関 嘉 一
委 員	三 浦 ミヤ子	区 長	阿 部 満
委 員	木 内 進	支所長	渡 邊 昌 平
委 員	佐 藤 時 男	振興課長	鈴 木 久 男
委 員	庄 司 和 夫	市民課長	佐 藤 光 治
委 員	佐々木 量一	福祉保健課長	佐 藤 孫 栄
委 員	池田孝義	産業課長	荘 司 和 夫
委 員	小 松 貢	建設課長	鎌 田 正 夫
委 員	佐 藤 か う	由利教育事務所長	三 浦 眞 一
委 員	山田 英津子	生涯学習課長	木 内 恵 一
委 員	木 内 忠 一	振興課主席参事	三 浦 貞 一
委 員	畑 中 喜 輝	振興課主査	佐 藤 弘 幸
委 員	須 田 昭	振興課主事	小 松 輝 臣